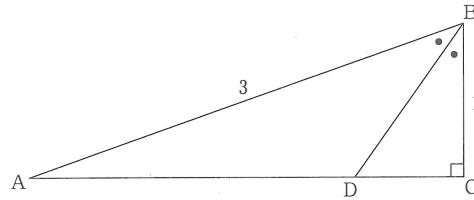


第5問 図形の性質



直角三角形 ABC に三平方の定理を用いると、

$$\begin{aligned} AC &= \sqrt{AB^2 - BC^2} \\ &= \sqrt{3^2 - 1^2} \\ &= \boxed{2} \sqrt{\boxed{2}} \end{aligned}$$

である。

さらに、角の二等分線の性質より、

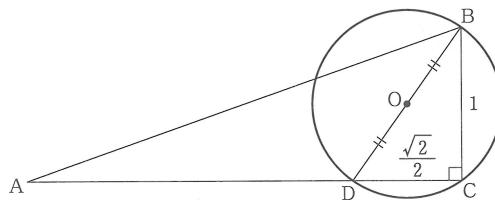
$$\begin{aligned} AD : DC &= BA : BC \\ &= 3 : 1 \end{aligned} \quad \cdots \textcircled{1}$$

であるから、

$$\begin{aligned} AD &= \frac{3}{3+1} AC \\ &= \frac{3}{4} \cdot 2\sqrt{2} \\ &= \frac{3}{2} \sqrt{\boxed{2}}, \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} CD &= \frac{1}{3+1} AC \\ &= \frac{1}{4} \cdot 2\sqrt{2} \\ &= \frac{\sqrt{\boxed{2}}}{2} \end{aligned}$$

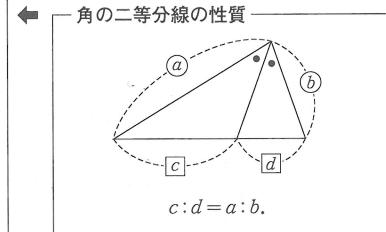
である。



$\angle BCD = 90^\circ$ であるから、線分 BD は 3 点 B, C, D を通る円の直径である。

ここで、直角三角形 BCD に三平方の定理を用いると、

$$\begin{aligned} BD &= \sqrt{BC^2 + CD^2} \\ &= \sqrt{1^2 + \left(\frac{\sqrt{2}}{2}\right)^2} \end{aligned}$$



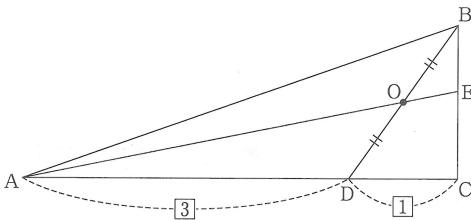
$$c:d = a:b.$$

$$= \frac{\sqrt{6}}{2}$$

であるから、

$$\begin{aligned} OB &= OD = \frac{1}{2}BD \\ &= \frac{1}{2} \cdot \frac{\sqrt{6}}{2} \\ &= \frac{\sqrt{6}}{4} \end{aligned}$$

である。



$\triangle BCD$ と直線 AE に対して、メネラウスの定理を用いると、

$$\frac{BE}{EC} \cdot \frac{CA}{AD} \cdot \frac{DO}{OB} = 1$$

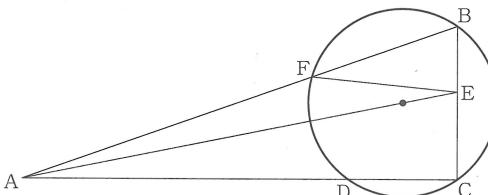
であり、 O が線分 BD の中点であることと ① より、

$$\frac{BE}{EC} \cdot \frac{4}{3} \cdot \frac{1}{1} = 1$$

すなわち

$$\frac{BE}{EC} = \frac{3}{4} \quad \cdots ②$$

である。



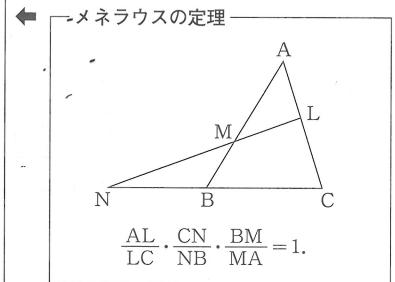
$$\begin{aligned} (\triangle EFB \text{ の面積}) &= \frac{BF}{BA} (\triangle ABE \text{ の面積}) \\ &= \frac{BF}{BA} \cdot \frac{BE}{BC} (\triangle ABC \text{ の面積}) \end{aligned}$$

であるから、

$$\frac{(\triangle EFB \text{ の面積})}{(\triangle ABC \text{ の面積})} = \frac{BF}{BA} \cdot \frac{BE}{BC} \quad \cdots ③$$

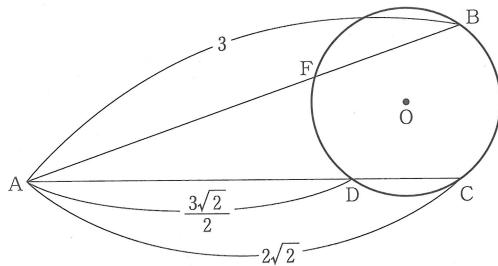
である。

まず、 $\frac{BF}{BA}$ を調べる。



③は次のように求めてよい。

$$\begin{aligned} \frac{(\triangle EFB \text{ の面積})}{(\triangle ABC \text{ の面積})} &= \frac{\frac{1}{2}BF \cdot BE \sin \angle FBE}{\frac{1}{2}BA \cdot BC \sin \angle ABC} \\ &= \frac{\frac{1}{2}BF \cdot BE \sin \angle ABC}{\frac{1}{2}BA \cdot BC \sin \angle ABC} \\ &= \frac{BF}{BA} \cdot \frac{BE}{BC}. \end{aligned}$$



一方べきの定理を用いると、

$$AF \cdot AB = AD \cdot AC$$

であるから、 $AB = 3$, $AD = \frac{3\sqrt{2}}{2}$, $AC = 2\sqrt{2}$ を代入すると、

$$AF \cdot 3 = \frac{3\sqrt{2}}{2} \cdot 2\sqrt{2}$$

$$AF = 2$$

である。

よって、 $BF = AB - AF = 3 - 2 = 1$ であるから、

$$\frac{BF}{BA} = \frac{1}{3} \quad \cdots ④$$

である。

また、②より、

$$\frac{BE}{BC} = \frac{3}{7} \quad \cdots ⑤$$

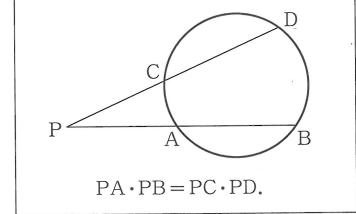
であるから、④, ⑤を③に代入すると、

$$\frac{(\triangle EFB \text{ の面積})}{(\triangle ABC \text{ の面積})} = \frac{1}{3} \cdot \frac{3}{7}$$

$$= \frac{\boxed{1}}{\boxed{7}}$$

である。

← 一方べきの定理



$$\frac{BE}{EC} = \frac{3}{4}.$$

